

『生きがい通信』では、兵庫県生きがい創造協会本部の事業や高齢者大学等の諸事業をお知らせしています。

トピックス

「公開講座」の参加者を募集します

生きがい創造協会では、兵庫県シルバー人材センター協会と共催で、また兵庫県職員互助会の協賛を得て毎年「主体的に学び続ける県民」としての見識を深める機会として「公開講座」を開催しています。

今年度は、兵庫県立明石市出身の気象予報士で防災士の蓬萊大介氏をお招きし「自然災害が多い日本でどう暮らすか」をテーマに講演いただきます。多くの皆様方のご参加をお待ちしています。

日時 令和7年12月7日（日）14:00～15:40

会場 兵庫県いなみ野学園大講堂

定員 300名（参加無料、応募者多数の場合は抽せん）

対象 県内在住・在勤・在学者

※ 詳しい内容などは、いなみ野学園ホームページをご覧ください。

で検索

〈お問合せ〉 生涯学習部（電話079-424-3380）



「ごあいさつ」

公益財団法人 兵庫県生きがい創造協会
理事長 橋本正人



最近、「学び直し」ということがよく言われています。主として社会人、働いている人が社会経済環境の変化に対応するため、新たにあるいはもう一度「スキル」や「知識」を「学ぶ」というニュアンスです。どうも、身につけておかないと、ビジネスの変化についていけなくなる、からといった、やらされ感が強い気がします。「学び直し」でなく、「勉強し直し」で、「学び」と「勉強」には大きな違いがあると思います。

「勉強」とは、受け身で自分以外の誰かから目的やゴールを決められてするもの、のニュアンスです。「勉強」を「強いる」という言葉がそれを表していると思います。

では「学び」はどうでしょうか。「学び」は自分で目的を決めてやるものです。人から強制されることはありません。人から強制されるのであればそれは「勉強」です。

「学び」は、自分自身で目的やゴールを決めてやるものですから、勉強よりも動機がしっかりとしています。自分が、好きで、主体的に、関心ごとや目指したいことに向けて「知ろう」「やってみよう」とするものですから、「楽しむ」ことが何より大切だと思います。その努力自体にも自らが求めた喜びがあり、乗り越えた時、達成した時の満足感、充実感があるはずで。

兵庫県生きがい創造協会は、皆さんの「学び」を応援します。さあ、大いに「学び」を楽しみましょう。

各施設だより

いなみ野学園だより

「交通安全教室」を開催しました

いなみ野学園では、交通事故で亡くなる方の半数以上が高齢者であること、歩行中や自転車利用中の交通死亡事故が多いことなどから、毎年4年生の共通講座で交通安全教室を実施しています。

本年度は、兵庫県くらし安全課、兵庫県警本部・加古川警察署とともに、5月16日（金）に実施しました。

当日は、まず加古川警察署からの講義を全員で受講。内容は、加古川警察署管内における交通事故発生状況や、昨年改正された道路交通法のうち自転車の交通違反に対する反則切符の適用を見据え、自転車の適正かつ安全な利用について丁寧に説明して頂きました。

その後、2班に分かれ、日本自動車連盟（JAF）兵庫支部の協力による「正しい乗車姿勢と車両の死角体験」、そして（株）兵庫トヨタの協力による「サポカーの先進安全運転支援機能体験」をローテーションで受講しました。学生たちは改めて交通安全に対する意識を高めることができました。

県内高齢者大学では、いなみ野学園を皮切りに、嬉野台生涯教育センター（うれしの学園生涯大学）、丹波OB大学、西播磨文化会館（ゆうゆう大学）でも同様の交通安全教室が開催されます。



「寺田池ウオーキング」を行いました

5月26日（月）、いなみ野学園1年生恒例の「寺田池ウオーキング」を行いました。まず、大講堂で寺田池協議会の中田副会長より、ビデオを見ながら寺田池の歴史などを聞いた後、各クラスごとに移動開始。途中、寺田池ほとりにある兵庫大学に立ち寄り、希望者は大学食堂で大学生らとともに昼食を頂きました。

寺田池は893年（平安時代）頃に築造された加古川市内で一番大きいため池（周囲1.56Km）で、平成22年には農林水産省「全国ため池百選」にも選定されています。



「トライやるウィーク」の生徒3名がいなみ野学園で様々な体験！

6月2日（月）から5日間、加古川市立平岡中学校の2年生の学生3名を「トライやるウィーク」として受け入れました。

いなみ野学園の授業がある日は、朝の「体操」に参加した後、「朝のつどい」では元気いっぱい自己紹介。学生達のおじいちゃん・おばあちゃん世代の学園生から暖かく迎え入れてもらいました。

「朝のつどい」の後は、いなみ野学園共通講座の受講や、園芸学科の授業・実習に参加したほか、パソコンでのチラシづくりにチャレンジしたり、文書の発送業務、手作りの店での接客・販売補助、学園内の環境整備（芝刈り）など様々な体験をしてもらいました。



「陶令会展」「水墨画展」「絵画作品展」が開催されました

いなみ野学園では、様々なクラブ活動・サークル活動が行われていますが、5月に3つの作品展が開催されましたので、その様子を紹介します。

【陶令会展】

5月13日（火）から17日（土）にかけ、東播磨生活創造センター「かこむ」1階展示ギャラリーにおいて「第1回陶令会展」が開催されました。

この「陶令会展」は、いなみ野学園陶芸学科第51期卒業生有志と、共に学んだ専修生（陶令和）有志の19人が制作した陶芸、手芸、能面、写真などの作品約80点が展示されました。



【水墨画展】

5月20日（水）から24日（土）にかけ、加古川総合文化センターにおいて水墨部とサークル水墨会の共催により「水墨画展」行われました。3名講師の9点の作品に加え、併せて40名の84点が所狭しと展示されていました。



【絵画作品展】

翌週の5月27日（火）から6月1日（日）にかけ、同センターで絵画サークル・絵画クラブによる「絵画作品展」も開催。講師2名を含む59名による119点もの力作が展示されていました。



高齢者大学共演『第1回 部活発表芸能大会』に参加しました

令和7年6月24日（火）、神戸市長田区の「ふたば学舎」において『第1回 部活発表芸能大会』が開催されました。この芸能発表園芸大会は、シニアルネッサンス研究会の主催、生きがい創造協会等の後援によるもので、高齢者大学の魅力発信やシニア学生による地域貢献、高齢者大学間の交流を目的に初めて開催されたものです。

いなみ野学園からは銭太鼓クラブの「銭太鼓」や、謡曲部の「謡曲」、同窓研修会楽友健ボラの「コーラス」のほか「詩吟」「マジック」など多くの学園生らが出演し、会場を大いに盛り上げました。



いなみ野学園文化学科4年生が「自主研究発表会」を開催！

いなみ野学園文化学科4年生による「自主研究発表会」が、7月4日（金）と11日（金）の2日間にわたり開催されました。

この発表会では、学園生一人ひとりの個性と経験を活かし、班ごとに地域に根差した多様なテーマが深く掘り下げられました。長年の人生経験と豊かな知恵が詰まった発表は、来場者に多くの新たな気づきを与え、高齢者大学ならではの知の蓄積を感じさせました。発表テーマは、地域文化、食文化、地域の発展や魅力に関する考察など、多岐にわたる9つのテーマにわたりました。



いなみ野学園『オープンキャンパス』

いなみ野学園を実際に見学・体験していただき、より多くの皆さんに入学していただけるよう、令和8年度入学生の募集受付に先立ち、オープンキャンパスを開催しますのでぜひご参加ください。

（前日までにお申し込みください）

日時等：11月25日（火）9：30～15：00 講座見学・学園内見学・質疑応答
11月28日（金）9：30～15：00 講座見学・学園内見学・質疑応答
12月 3日（水）9：30～15：00 クラブ活動自由見学・質疑応答

参加費：無料

申込み先：いなみ野学園 学園課 電話079-424-3342

いなみ野学園「第52回いなみ野祭」

いなみ野学園の学園祭「第52回いなみ野祭」を開催します。クラブ活動の発表（演芸大会、作品展示等）、陶芸作品展、野菜や陶芸品の即売などを行い、皆さんが楽しんでいただける地域交流の場として開催される楽しいイベントです。どなたでも参加いただけます。ぜひお越しください。

日時：11月15日（土）・16日（日）
両日とも10：00～16：00

問合せ先：いなみ野学園 学園課
電話079-424-3342



短期集中講座「藤原正美の話し方講座」を開催しました

生涯学習部では、短期間の学習講座の開設に対するニーズに対応するため、平日の午後やいなみ野学園の休園日などの学舎を活用し、くらしに役立つ趣味・知識等の分野の講座や生活支援分野において活躍するため、広く県民を対象とした「短期集中講座」を、今年度も実施しています。

今年度第一弾は「藤原正美の話し方講座」で、ラジオ関西パーソナリティで番組ディレクターとして活躍する同氏を講師に招き、発声方法や活舌方法など話し方の基本だけでなく、気持ちの伝わるフリートークのコツ、長文の朗読なども行いました。

講座終了後は、毎年恒例の「おまけ講座」があり今回は「パーソナリティに挑戦」。参加者2名ずつペアになり、ラジオのパーソナリティになりきって熱演していました。



今後、「スマホで使える！生成AI活用講座」なども実施する予定です。

《短期集中講座実施予定》

講座名	日時	講師
生成AI活用講座 4回、受講料：6,000円	9月11日(木)～10月2日(木) 毎木曜日 15:00～16:30	兵庫大学エクステンション・カレッジ 講師 菅生 安展 氏
剪定講習 2回、受講料：無料	11月17日(月) 13:00～16:00 18日(火) 10:00～16:00	仁寿園代表 毛利 幸弘 氏
ハウスクリーニング講習 2回、受講料：無料	11月20日(木)・21日(金) 各日 13:00～16:00	(一社)日本清掃収納協会 後藤 恵子 氏
ひょうご文学散歩 4回、受講料：6,000円	8年1月9日(金)～30日(金) 毎金曜日 15:00～16:30	兵庫教育大学大学院 元教授 廣岡 徹 氏

「第22回ツウゲットボール全県大会」

グラウンド・ゴルフのクラブとボールを使用して、2回の打数で得点を取り合う「ツウゲットボール」の全県大会を開催します。

「ツウゲットボール」は、兵庫県生きがい創造協会が、高齢者の生きがいづくりと社会参加を推進するリーダー養成のため開発したシニアニュースポーツです。いなみ野学園の精鋭チームも参戦しますので、ご声援くださるようお願いいたします。

日時：10月28日(火) 10:00～16:00

場所：但馬ドーム

問合せ先：生涯学習部 電話079-424-3380

令和7年度「社会教育関係職員等研修」を開催

生きがい創造協会では、兵庫県公民館連合会・兵庫県教育委員会社会教育課と共催で、市町の社会教育・生涯学習主管課職員や地域における学習・活動拠点である公民館等の生涯学習機関の職員等を対象に資質向上を目的に研修を実施しています。

7月9日（水）には、経験年数が概ね2年未満の職員等を対象とした『新任社会教育関係職員等研修』では、兵庫県社会教育委員会議長で前公民館連合会会長の萬浪佳隆氏から、「地域コミュニティの再生～社会教育に期待すること～」をテーマに講演を頂きました。

また、社会教育施設のリーダーとしての資質向上を図る『社会教育・生涯学習主管課長及び社会教育施設長等研修』（8月19日（水））のほか、『社会教育関係職員スキルアップ研修』（8月29日（金））も実施します。



高齢者園芸センター「柿の実オーナー」募集！

高齢者園芸センターでは、「契約した柿の木になった柿の実はずべてオーナーが収穫し、持ち帰ることができる」こととして、オーナーとなって自分の柿の実の育成状況に思いを馳せ、収穫時には自分の手で秋の味覚である柿の実を収穫してその味を楽しんでいただく「柿の実オーナー」を募集しています。

募集期間：8月18日（月）～9月5日（金）*先着順

場 所：高齢者園芸センター果樹園

（加古川市野口町水足1984-62）

品 種：平核無（ひらたねなし）

※渋柿ですが、渋抜きが容易なおいしい柿です

本 数：50本

収穫期間：9月19日（金）～10月31日（金）

オーナー会費：1口 5,000円～20,000円

問合せ先：生涯学習部 電話079-424-3380

申込み先：高齢者園芸センター



ひょうごラジオカレッジだより

第23回文芸祭を開催しました

5月9日（金）、いなみ野学園を会場として第23回ひょうごラジオカレッジ文芸祭を開催しました。朝から絶好の天気にも恵まれ、今年も県下各地から50名に近い熱心な学生の皆さんが参加されました。

大講堂で行った開会式では、佐藤学長のあいさつに続き、選者の中井陽子先生（俳句）、三津野幸代先生（短歌）、みぎわはな先生（川柳）のご出席のもと、各部門の表彰式を行いました。各受賞者には賞状及び副賞（特選は丹波焼マグカップ、準特選は丹波焼湯呑、入選はレターセット、佳作は一筆箋）が学長から授与されました。

表彰式の後、部門毎に各会場に別れて分散交流会が行われました。選者の先生による出席者の投稿作品、入賞作品の講評や句会、歌会が行われるなど、どの分科会も参加者の熱気にあふれ、文芸に対する真剣な気持ち伝わるとともに、楽しく交流も行われ、とても有意義な行事となりました。



令和7年度「第1回中央スクーリング」を開催しました

いなみ野学園の正門に続く泰山木（たいさんぼく）の並木に大きな白い花が咲き始めた5月30日（金）ひょうごラジオカレッジ令和7年度第1回中央スクーリングをいなみ野学園大講堂で開催しました。今年度入学の本科生32名を始め100名を超える学生の皆さんが、県下各地から参加されました。

開会式では、橋本正人（公財）兵庫県生きがい創造協会理事長出席の中、佐藤淳ひょうごラジオカレッジ学長より開会のあいさつがあり、続いて来賓の兵庫県県民生活部北茂正次長から入学のお祝いと温かい励ましの言葉をいただきました。その後、参列いただいた委嘱講師の肥田均先生、井上雄司先生、そして事務局職員を紹介しました。

講義では、園田学園大学名誉教授の田辺真人先生に「この50年と日本生活文化史～ラジオカレッジの新たな50年に～」と題してお話をいただきました。日本の生活文化は、飛躍的な情報通信技術の発達と普及により1990年ごろを境として急速に変化した。その結果、前後の世代には「歴史的異民族」とも言える大きな隔たりが生じ、現在は「同一国民で2民族」の状態にある。両者の間にはかつてのような「以心伝心」は通用せず、意識的に言葉で伝え合うコミュニケーションが求められている、と述べられました。

後半は、委嘱講師の先生方から「事前に放送ノートを読んだ上で少なくとも2回は放送を聴き直すこと」「感想文は上手下手を意識せず、素直な思いを書くことが大切」など、感想文の書き方についてのご指導と「継続は力なり」と激励の言葉をいただきました。最後に、事務局から今年度リニューアルしたホームページの活用方法について、実際の操作を示しながら解説しました。

終了後も、記念撮影をする友の会や昼食会場で歓談するグループも見られました。今回の中央スクーリングが学生の皆さんの今後の学びと交流に資することを願います。



阪神シニアカレッジだより

夏の「オープンキャンパス」「学長文学歴史サロン」を開催します！

阪神シニアカレッジの夏の「オープンキャンパス」を8月31日（日）に開催します。当日は、カレッジの教室や、屋上実習農園など館内を自由にご見学いただけます。

また、来年度新たに開講予定の日本史と日本文学の多彩な講座をお届けする「文学・歴史講座」など、カレッジの各学科・講座の魅力をご紹介します。カレッジへの入学をお考えの方のための入学相談も受け付けています。参加無料、申込不要ですのでお気軽にお越しください。

また、同日、田辺真人学長が文学、歴史を語る公開講座「学長文学歴史サロン」を開催します。

ゲストに落語家の桂阿か枝さんをお迎えし、田辺学長の講演「瀬戸内海航路と兵庫津」とともに落語「兵庫船」をお楽しみいただきます。

田辺学長の「文学歴史サロン」は事前申込が必要です。また、参加費は1,000円です。

日時等 令和7年8月31日（日）

オープンキャンパス 11:00～16:00 館内自由見学・入学相談

13:00～13:15 カレッジ紹介

学長文学歴史サロン 13:30～15:30

場 所 阪神シニアカレッジ（宝塚市東洋町2番5号）

※詳しい内容や申込方法は、阪神シニアカレッジのホームページを参照してください。

[阪神シニアカレッジ](#) で検索

《申込・お問合せ》 阪神シニアカレッジ 電話0797-26-8001



【田辺学長】



【ゲスト 桂阿か枝】

阪神シニアカレッジ『文化祭2025』

阪神シニアカレッジの学生や卒業生が、作品展や舞台発表を通じて日ごろの活動成果を発表する場として「阪神シニアカレッジ文化祭2025」を開催します。

地域の皆様方の多くのご参加をお待ちしています。

日 時：10月15日（水）作品展

9:30～16:00

16日（木）作品展・舞台発表

10:00～14:00

参加費 無料（予約不要）

問合せ先 阪神シニアカレッジ

電話0797-26-8001



令和7年8月発行

公益財団法人 兵庫県生きがい創造協会

〒675-0188 加古川市平岡町新在家902-3

TEL:079-424-3380 FAX:079-424-3475